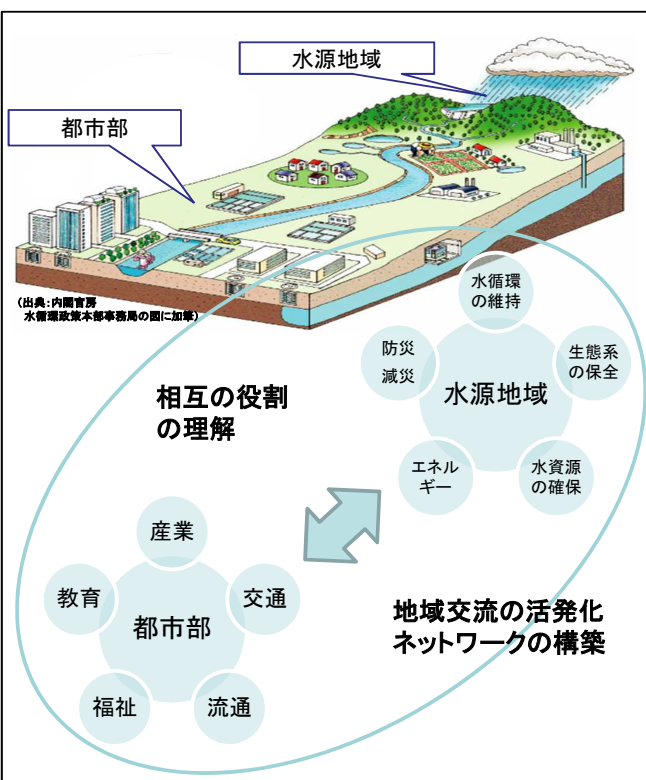


水源地域社会が目指す方向性

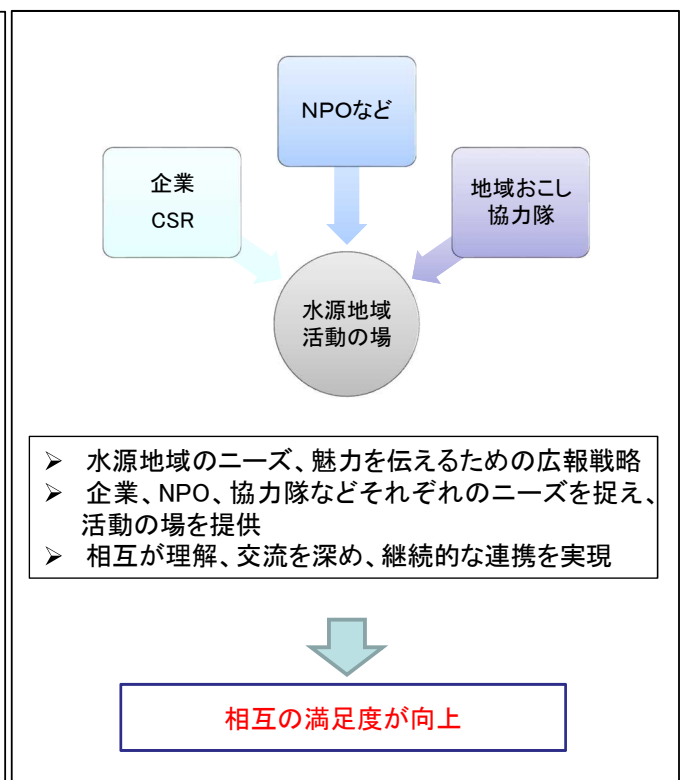
流域連携の強化と担い手の導入

- ◆ 水源地域の役割を上下流で共有することにより、流域が一体となり連携した水源地域の活性化を図る。
- ◆ 担い手の導入には、水源地域の受け入れ体制の構築が重要

流域連携の強化



担い手の導入



- ◆ 水源地域に存在するものについて環境、社会、経済を組み合わせることにより創出されるものが持続可能な地域につながる。
- ◆ 地域のリソースが流れない仕組みを循環させることによって地域の活性化が図られる。

